

で、持続可能な介護人材確保に取り組まれないが意気込みを問う。

**答** 介護サービスの安定的な提供には介護人材の確保は大変重要であり、市では新たな人材の就労支援や労働環境改善などに取り組んできた。引き続き、施策を着実に推進し、介護事業所の実態に寄り添った支援に取り組む。

**福祉** 独居高齢者への支援の強化を無所属

**問** 生活保護受給者の独居高齢者が自宅で死亡後、発見まで時間がかかった事例が博多区であった。要介護になるといきいきセンターから月1回程度連絡があるが元気であれば6カ月に1回である。支援強化が必要だが所見を。

**答** 超高齢社会を迎え、1人暮らしが増える中、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるよう、1人暮らしの高齢者の見守りや、生活上の課題への対応、住まい、死後事務など、支援を強化していく。

**建築** 住宅以外の建築物やブロック塀の耐震化への支援強化を自民

**問** 今後より一層、耐震化の推進を図り、安全・安心なまちづくりへの取り組みを強化するために、住宅以外の建築物に対する支援策やブロック塀についても、さらなる所有者の負担軽減に向けた対策が必要だが所見を問う。

**答** 市では、住宅や要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断や耐震改修工事費への補助事業に加え、危険なブロック塀等の除却費補助事業を設けている。国の基本方針や耐震化の現状等を踏まえ、さらなる支援強化を検討する。

**住宅** 住宅市街地総合整備事業を活用した住宅は民泊禁止を無所属

**問** 住宅市街地総合整備事業(住市総)対象住宅は、良好な住環境形成のために補助金を交付しており、民泊は禁止すべきである。民泊新法のトラブル防止について現状の取り組みを問う。

**答** 住宅宿泊事業法に基づく民泊については、国は住市総の制度上、目的外使用には当たらないとしている。市では民泊トラブル防止対策として、市内のマンションに対し、あらかじめ管理規約に民泊実施の可否の記載を推奨するなど、周知に取り組んでいる。

**環境、道路、下水道、河川、消防、水道、地下鉄など**

**道路** 博多駅周辺地区の駐輪場は再開発の機会を捉えた整備を公明

**問** 博多コネクティッドで民間ビルの再開発が進む博多駅周辺地区の駐輪場の整備は、今を逃してはならない。未来を見据えた駐輪場施策に今後どのように取り組むのか所見を問う。

**答** 博多駅周辺地区において、博多コネクティッドによる民間ビルの開発の機会等を捉え、民間と連携した駐輪場の整備を進めるとともに、路上駐輪場の撤去によるゆとりある歩行空間の確保等により、市民や来街者に快適な公共空間の創出に取り組む。

**道路** 地域要望には必要性や緊急性を踏まえ能動的に対応を新風

**問** 生活道路に倒れそうな大木があり切っただけでは伐採まで1年2

域要望について、伐採まで1年2

カ月も要した。命や生活を脅かす場合は、切実な訴えに理解を深めようとする姿勢が行政には今後ますます大切だが責任ある所見を。

**答** 市民からの要望や意見については、日頃から真摯に受け止めて取り組むこととしているが、本件は地域への進捗状況等の丁寧な説明が行えていなかったことが課題と認識している。今後、市民に向けて丁寧な対応に努めていく。

**環境** 2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロの実現を公明

**問** 市が目標とする2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロは来年で残り14年となる。強力に推進できればと考えるが、目標達成に向けて市長の決意を問う。

**答** 脱炭素社会の実現に向けては、補助事業など従来の取り組みの強化とともに、ペロブスカイト太陽電池や非化石証書など、昨今急速に進化する脱炭素技術やビジネスモデルの社会実装などに総合的に取り組んでいる。引き続き、市民や事業者と一体となって、脱炭素社会の実現に取り組む。



香椎浜小学校体育館の屋根に設置されたペロブスカイト太陽電池

**総合計画、国際交流、財政、地域コミュニティ、防災など**

**生活** 多文化共生社会の第一歩としてこみ出しルールの徹底を市民ク

**問** 留学生や仕事で来られる外国人も増え、地域ではごみ出しルールや生活習慣の違いから戸惑いが生まれている。ごみ出しルール徹底を第一歩に、日本人も外国人も安心して暮らせるまちにしていくためにどう取り組み、多文化共生をどう進めるのか。

**答** 在住外国人が増加する中、まちづくりが重要。在住外国人が日本の生活のルール・マナーを理解するよう取り組むとともに地域交流により相互理解を促進していく。

**防災** 県の地震アセスメント調査を受け、早急な避難計画策定を共産

**問** 県の地震に関する防災アセスメント調査報告書では被害想定が大幅に拡大している。本結果を反映させた総合的な避難計画を策定し、各避難所での公的備蓄や避難者受け入れ態勢がとれる財政的措置を図るべきだが所見を。

**答** 現在、避難者への対応を含めた地域防災計画の全面的見直しに取り組んでいる。地震の新たな被害想定が示されたため、改めて防災対策全般について全庁的に検討を行い、ハード・ソフト両面から必要な対策を進めていく。

**地域** 公益性の高い活動に対しては公民館の柔軟な運用を無所属

**問** 公民館は社会教育施設であるため、政治・宗教・営利活動は禁止であるが、育児サークルといった公益性の高い活動で材料費など必要最小限の費用を徴収することも営利だと心配され活動が停滞するという声を聞く。公民館の柔軟な運用が進められないか。

**答** 公民館は社会教育施設であるため、政治・宗教・営利活動は禁止であるが、育児サークルといった公益性の高い活動で材料費など必要最小限の費用を徴収することも営利だと心配され活動が停滞するという声を聞く。公民館の柔軟な運用が進められないか。

**答** 公民館については、地域のより身近な施設として、より多くの人が利用できるよう、設置目的を踏まえながら、さらなる機能強化と利用促進の取り組みを進めていく。

**子ども育成、教育など**

**教育** 熱中症対策や災害対策のため小学校へ夜間照明施設設置を自民新

**問** 熱中症等のリスクがある日中よりも気温が低い放課後に校庭でスポーツ等を行う場合は、夜間照明施設が必要である。さらに、災害時に一時避難所となる小学校の夜間照明施設は有効で、設置を検討すべきだが所見を。

**答** 熊本地震で夜間照明施設が避難生活に有益だったことは承知している。一方で、学校施設開放での利用時に近隣住民から苦情等が寄せられることもあり、費用も含め多くの課題があるため、今後慎重に検討する必要がある。

**教育** 科学技術人材を育てるため小学校の理科教育の充実を市民ク

**問** 市はユニコン企業創出を目指しているが、その多くは先端科学技術を基盤としており、科学技術を支える人材育成に力を注ぐ必要がある。未来の科学技術人材を育てるため、理科教育の充実に向けた意気込みを問う。

**答** 市では多くの小学校で理科を専科教員が担当するとともに、教育センターで教員研修を実施し理科の専門性を生かした授業を行っている。さらに科学わくわく事業など理科に興味を持てる

よう理科教育の充実を努めていく。

**教育** 義務教育未修了者への学びの場の保障を市民ク

**問** 2022年、公立夜間中学校「福岡さぼろ中学校」が早良区に開校したが、東部地域にも整備すべきと考える。また、自主夜間中学、福岡よみかき教室は、千代小中学校再編後の新校舎でも教室を使用させるべきだが所見を。

**答** 福岡さぼろ中学校は市内各件を満たす人は入学できており、2校目の設置は検討していない。千代小中学校再編後の新校舎での教室使用は学校の教育活動に支障なければ承認できると考えている。

**教育** 個別最適化教育の実践のため教員の働き方改革の推進を無所属

**問** 教員の働き方改革は待ったなしである。授業時間にメリハリを入れることや、令和5年度教員業務実態把握調査で示された、教員が担う業務の分類・整理の一覧表をアップデートしてより一層活用することについて所見を問う。

**答** 教育の質の向上に向けては、教科担任制を推進するための人員や支援スタッフの拡充などに取り組んでいく。教員が担う業務の分類・整理については、内容を更新・充実させ、学校現場の業務改善に一層活用していきたい。

**このほかの主な質問**

- 博物館のリニューアルについて
- 市営渡船の課題解消に向けて
- 多頭飼育崩壊を未然に防ぐための取り組みについて
- アウトバンド・国際交流の振興について
- 公民館の臨時休館日について
- 災害ボランティア支援の在り方について
- 学校施設開放事業について